



西眼科だより 第6号

NISHI EYE HOSPITAL

西眼科病院 〒537-0025 大阪市東成区中道4-14-26 06-981-

眼の病気の知識

緑内障の話(その3)

緑内障の検査

治療中は、眼圧測定や視野検査などをおこなって、薬がちゃんと効いているかチェックします。

- 日常の検査・・・眼圧測定、眼底検査
- 定期検査・・・視野検査
- 特殊検査・・・隅角検査



緑内障の治療

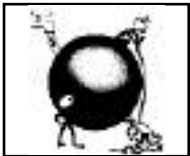
診断の結果、高い眼圧を下げるために色々な治療(点眼薬、内服薬、手術など)を行います。病気の種類と程度によって使い分けをします。

点眼薬による場合

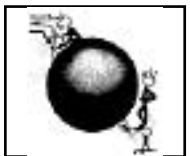
一日一回点眼したり5回点眼したり、また濃い薄いがあり、

内服薬の場合

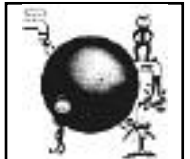
一般に内服薬は点眼薬の補足に使用され、内服する時には手足や口のまわりがしびれたりなどの症状がでる場合がありますが、服用をやめると元に戻りますから心配はいりません。



流出を良好にして眼圧を下げる



房水の産生を抑制して眼圧を下げる



新しい流出口をつくって眼圧を

緑内障の注意八箇条



- 一、眼痛、充血、視力悪化などが起これば眼科専門医を訪ねること。救急処置としては目を冷やすこと。(緑内障の発作は冬の寒いとき、夏の暑い時によく起こります。)
- 二、コーヒー、茶、飲酒を制限し大量の水を一度に飲まず、少しずつ飲むこと。
- 三、過度の喫煙を控え便通を整えて血液の循環をよくすること。
- 四、暗いところでの作業や読書はなるべく控えて、目を使わないこと。
- 五、首のまわりを圧迫するような窮屈な服装をしないこと。
- 六、緑内障は非常に感情の動揺に影響されやすいので、来るだけ感情のたかぶりやいらだちを起ささない習慣をつけること。
- 七、よく睡眠をとり規則正しい生活をする。
- 八、40才を過ぎたら、緑内障検診をすること。(ある調査で40才以上の30人に1人が緑内障にかかるとのこと。)

検査の豆知識(その1)

視力・眼圧測定の一必要性

「前に測ったばかりなのに、なぜ毎回毎回検査するのですか?」「眼圧は何ですか?」「何がわかるのですか?」などの質問をよく尋ねられることがよくあります。そこで、視力、眼圧について簡単に説明します。

【視力】

眼のもつ能力のことをいい、眼科で行う検査の基本です。裸眼視力のみでなく、その人個人個人のもつ本来の視力を矯正視力によって測定します。診察ごとにその日の視力を測り、病気の早期発見や屈折異常(遠視、近視、乱視)の有無、また治療の効果を見るのに有用です。

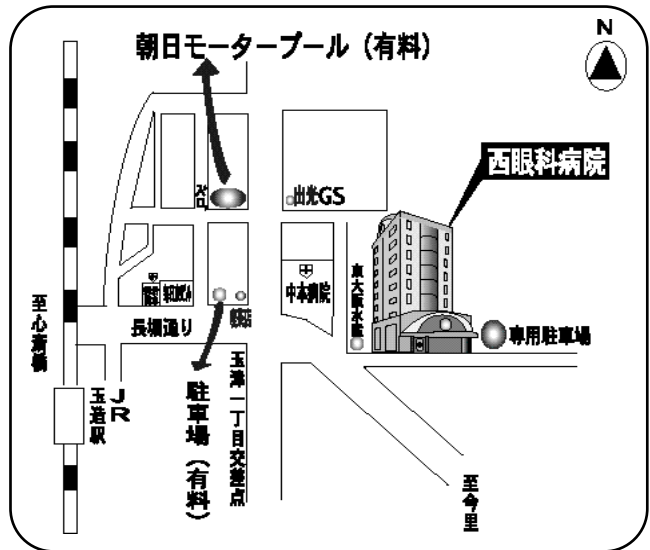


【眼圧】

眼圧とは、「眼球の硬さ」のことです。これも大切な検査のひとつです。眼圧は眼の中へ造られる水の量と、眼の外へ出ていく水の量によって決まります。何らかの原因で眼の中に水がたまって、眼圧の上昇が続くと、眼球壁が圧迫され萎縮します。視野を測定すると、どの程度萎縮しているかがわかります。眼圧の正常値は、「視神経に障害をおこさない値」をいい、体温にも個人差があるように、個人個人によって異なります。また、眼圧は変動しますので、時期をおいて繰り返し



駐車場・当院までの地図



J R 環 状 線 : 改札出て、真っすぐいき長堀通りを出て右へ200m

受付時間

午前 9時より12時まで
(初診 11時30分迄)
午後 2時より4時30分迄
(初診 4時まで)
前回来院時から3か月以上経過の方は、初診扱いとなります。

休診日

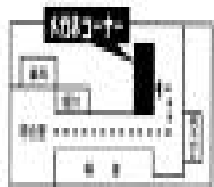
木曜日と、
第1・3土曜日は、
午後休診
日曜日・祝日
第2・4・5土曜日は
全日休診

診療担当医師のご案内

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
午前	第7診療室	西 植村	西 植村	西澤 白石	西 西澤	植村 高橋
	第6診療室	白石 高橋	植村 植村	白石 白石	西澤 西澤	高橋 高橋
	第5診療室	中川 戸田	中川 中川	久保木 久保木	中川 中川	西澤 西澤
	第3診療室	西澤 西澤	西澤 西澤	片野 片野	高橋 高橋	武信 武信
午後	第2診療室	武信 武信	武信 武信	植村 植村	武信 武信	
	第8診療室	高橋 高橋	沖中 沖中	沖中 沖中	沖中 沖中	沖中 沖中
	第7診療室	西澤 西澤	植村 植村	西垣 西垣	植村 植村	
	第6診療室	武信 武信	高橋 高橋	西澤 西澤	武信 武信	
午後	第5診療室	高橋 高橋	西澤 西澤	武信 武信	高橋 高橋	
	第8診療室	沖中 沖中	沖中 沖中	沖中 沖中	沖中 沖中	

メガネコーナーのお知らせ

この度クレジットカードが使えるようになりました。ご利用頂けるカードは、VISA、Master card、JCBの三つです。



編集後記

患者さんに少しでも役立つ情報を提供する為に、簡潔でわかりやすい広報誌作りを心掛けています。気付いたこと、尋ねたいこと、その他意見等がありましたら、医療相談室(受付横)にお申し越し下さい。なお、6号迄の西眼科だよりをお求めの方は、気軽にお申し出下さい。